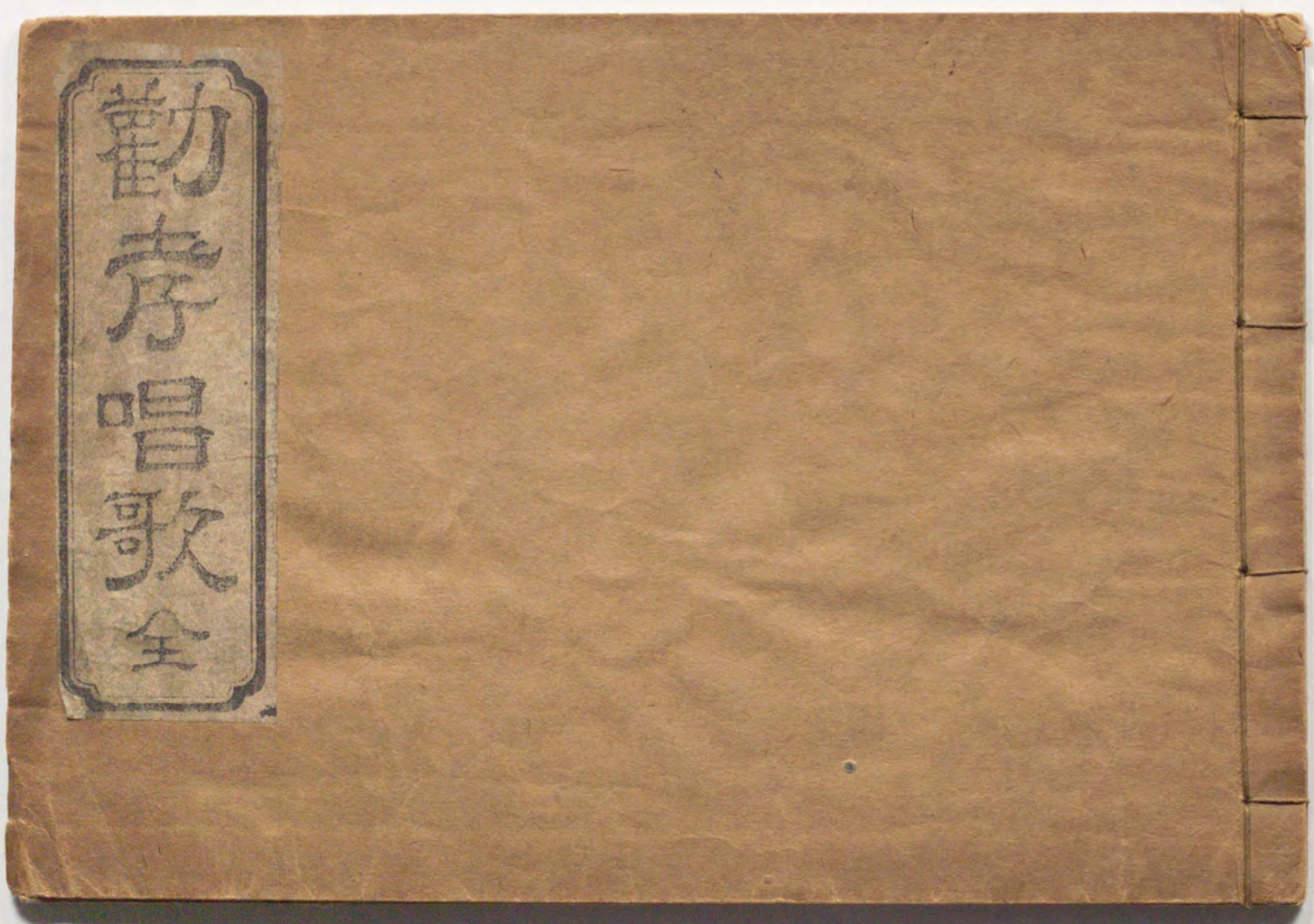
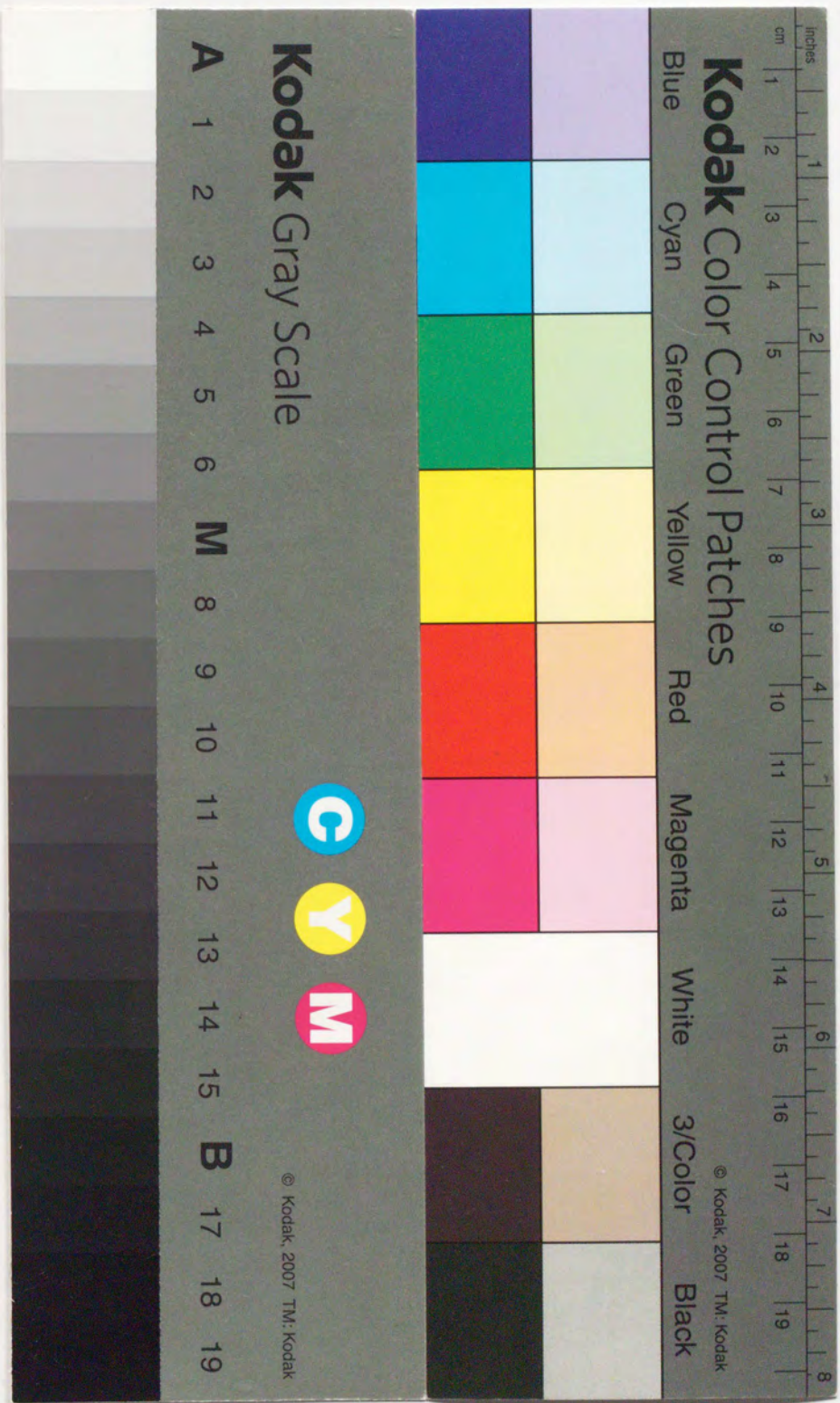




節

略

勸孝唱歌節略

おがねをた、まもふうせん、

そつべきあうはこなるぞと、

むる、もい、まき、ち、すもの、

めぐみりま、さるめ、なし、



園雅幼庭家校勢人
用適

歌唱孝勸
全

版出堂華文宿和浦縣玉埼

埼玉縣見下

勸孝唱歌

中村朝次郎編纂



一 おづねをたまりなふのせん
黄金 五 何

はづきあふらなふぞ
可持 室 子

むしもそちの
昔 今 父母

めぐみりやまめぐみなし
恵 勝 恵

二 やけのきぎもるはつる
焼野 雉子 夜 鶴

えけふあまぐくるしむる
子 身 苦

おさなきひとちの
稚 人 父母

ふくめぐみをおもふ
深 恵 思 知

三 柳 胎内 九月 間 痛 宿 母 起臥 立居 母 不終 食物 殊 母 生 其時 母 苦 如何 身内 痛 目 眼 是 生死 界 生 三歲 母 親 懷 不離 養

四 母 生 其時 母 苦 如何 身内 痛 目 眼 是 生死 界 生 三歲 母 親 懷 不離 養

五 母 生 其時 母 苦 如何 身内 痛 目 眼 是 生死 界 生 三歲 母 親 懷 不離 養

六 母 生 其時 母 苦 如何 身内 痛 目 眼 是 生死 界 生 三歲 母 親 懷 不離 養

七 母 生 其時 母 苦 如何 身内 痛 目 眼 是 生死 界 生 三歲 母 親 懷 不離 養

八 母 生 其時 母 苦 如何 身内 痛 目 眼 是 生死 界 生 三歲 母 親 懷 不離 養

九 母 生 其時 母 苦 如何 身内 痛 目 眼 是 生死 界 生 三歲 母 親 懷 不離 養

十 母 生 其時 母 苦 如何 身内 痛 目 眼 是 生死 界 生 三歲 母 親 懷 不離 養

十一 母 生 其時 母 苦 如何 身内 痛 目 眼 是 生死 界 生 三歲 母 親 懷 不離 養

十二 母 生 其時 母 苦 如何 身内 痛 目 眼 是 生死 界 生 三歲 母 親 懷 不離 養

十三 母 生 其時 母 苦 如何 身内 痛 目 眼 是 生死 界 生 三歲 母 親 懷 不離 養

十四 母 生 其時 母 苦 如何 身内 痛 目 眼 是 生死 界 生 三歲 母 親 懷 不離 養

十五 母 生 其時 母 苦 如何 身内 痛 目 眼 是 生死 界 生 三歲 母 親 懷 不離 養

十六 母 生 其時 母 苦 如何 身内 痛 目 眼 是 生死 界 生 三歲 母 親 懷 不離 養

十七 母 生 其時 母 苦 如何 身内 痛 目 眼 是 生死 界 生 三歲 母 親 懷 不離 養

十八 母 生 其時 母 苦 如何 身内 痛 目 眼 是 生死 界 生 三歲 母 親 懷 不離 養

十九 母 生 其時 母 苦 如何 身内 痛 目 眼 是 生死 界 生 三歲 母 親 懷 不離 養

二十 母 生 其時 母 苦 如何 身内 痛 目 眼 是 生死 界 生 三歲 母 親 懷 不離 養

二十一 母 生 其時 母 苦 如何 身内 痛 目 眼 是 生死 界 生 三歲 母 親 懷 不離 養

二十二 母 生 其時 母 苦 如何 身内 痛 目 眼 是 生死 界 生 三歲 母 親 懷 不離 養

二十三 母 生 其時 母 苦 如何 身内 痛 目 眼 是 生死 界 生 三歲 母 親 懷 不離 養

二十四 母 生 其時 母 苦 如何 身内 痛 目 眼 是 生死 界 生 三歲 母 親 懷 不離 養

二十五 母 生 其時 母 苦 如何 身内 痛 目 眼 是 生死 界 生 三歲 母 親 懷 不離 養

ひしきもあきなるころに
独 歩 頃

みちのあきなるころに
身形 悪 厭

ふばちうづいづいふき
父母 鵲 襖 縫 着

ふふにふきなるころに
子 錦 飾

九もみきなるころに
読書 筆 盤 其 他

えわなるあきなるころに
世 渡 業 習

おやもはなるころに
親 勝 若 竹

さうきなるころに
末 采 祈

十もものなるころに
山 高 知

うみのぬるころに
海 深 限

たきんものなるころに
仮 令 物 中々

かきつるやぬあきなる
計 不 尽 父 母 思

土もみなるころに
鳥 反 哺 孝 知

けふさんしのれいあり
鳩 三 枝 礼

まじりやひやうもはなる
況 入 生

なみなるころに
本 忘 不 叶

十二もみなるころに
朝 省 命 兼

ゆきなるころに
夕 静 不 忘

あきなるころに
孝 養 早 不 尽

かきなるころに
後 悔 不 及

世もろくろくしんちちの

唐 慶舜 父母

おふせうしんちちの

仰 畏 壁山

おふせうしんちちの

小田打 返

かりやけものたきけり

鳥 獸 助

古かんのぶんとらうに

漢 文帝 母上

みづくくすりをあま

自 藥 進

たふときみづもじづのち

尊 帝 賤男

かりゆみちふらうり

孝 道 変

十五ひるじいやまにゆき

或日 曾子 山 行

つふしきひとき

家 人 未

ちんちんちんちん

母 我子 待 託

ゆびちんちん

指 辛 嚙

夫みちふらうにあられた

身 二人 分

あやうらうらまのち

親 心 子 心

そしはふはうふむ

曾子 俄 胸 痛

さしきさしき

家路 指 歸

まわづきのきぬ

我子 衣 真綿

まわづきのきぬ

継子 衣 蒲 綿

びんのかうはたれども

開子 孝 至

すしきさしき

繼 中 是非 無

六 母 ち 在 り 我 あ 寒 ま 在 せ 在 ば 在 り 在 き 在 さ 在 む 在 し

ち 母 り 不在 あ 不在 ま 不在 せ 不在 ば 不在 り 不在 き 不在 さ 不在 む 不在 し 皆寒

ち 父 り 宥 あ 言 ま 葉 せ 言 ば 葉 り 葉 き 葉 さ 葉 む 葉 し 葉

ち 母 り 泪 あ 流 ま 流 せ 流 ば 流 り 流 き 流 さ 流 む 流 し 流

九 富貴 り 心 き 任 あ 任 ま 任 せ 任 ば 任 り 任 き 任 さ 任 む 任 し 任

む 昔 り 慕 あ 于路 ま 芽 せ 芽 ば 芽 り 芽 き 芽 さ 芽 む 芽 し 芽

あ 父母 り 在 ま 昔日 せ 昔日 ば 昔日 り 昔日 き 昔日 さ 昔日 む 昔日 し 昔日

あ 宋 り 十里 ま 運 せ 運 ば 運 り 運 き 運 さ 運 む 運 し 運

二 董永 り 身 え 賣 り 七父 ま 七父 せ 七父 ば 七父 り 七父 き 七父 さ 七父 む 七父 し 七父

ほ 井 り 宮 り 果 ま 果 せ 果 ば 果 り 果 き 果 さ 果 む 果 し 果

あ 天津 り 乙女 ま 天降 せ 天降 ば 天降 り 天降 き 天降 さ 天降 む 天降 し 天降

み 身代 り 補 あ 奇特 ま 奇特 せ 奇特 ば 奇特 り 奇特 き 奇特 さ 奇特 む 奇特 し 奇特

世 最難得 り 鹿 ま 乳 せ 乳 ば 乳 り 乳 き 乳 さ 乳 む 乳 し 乳

あ 光 り 眼病 ま 藥 せ 藥 ば 藥 り 藥 き 藥 さ 藥 む 藥 し 藥

あ 鹿子 り 皮 ま 被 せ 被 ば 被 り 被 き 被 さ 被 む 被 し 被

せ 郊子 り 鹿 ま 晨 せ 晨 ば 晨 り 晨 き 晨 さ 晨 む 晨 し 晨

世 故郷 り 乱 ま 江革 せ 江革 ば 江革 り 江革 き 江革 さ 江革 む 江革 し 江革

あ 母 り 伴 ま 迷 せ 迷 ば 迷 り 迷 き 迷 さ 迷 む 迷 し 迷

あ 情 り 不知 ま 盗人 せ 盗人 ば 盗人 り 盗人 き 盗人 さ 盗人 む 盗人 し 盗人

あ 犯 り 魚 ま 通 せ 通 ば 通 り 通 き 通 さ 通 む 通 し 通

あ 功 り 昇 ま 昌 せ 昌 ば 昌 り 昌 き 昌 さ 昌 む 昌 し 昌

六 文 り 幸 ま 宣 せ 宣 ば 宣 り 宣 き 宣 さ 宣 む 宣 し 宣

廿三 陸續 僅六歲

おや 親事 道知

そ 袖落 橘

かう 春 名世傳

廿四 父母尊子 惠

お 何先 唐夫人

お 老齒無姑

わ 我子乳進

廿五 夜半蚊遣火打消

わ 訖蚊聲喧

ち 母食 腹

わ 若吳猛背飽

廿六 七時別

ち 母尋 朱壽昌

お 歲五十路初 光

は 司棄 國興

廿七 氷厚 寒空

ち 母望 何 臭

あ 細代 氷臭 夫

ち 浮 鯉振

共かうしんぶさきわさしを

孝心 深

王祥

かみもあまのとおおしけん

神

哀 思

あまのうけいなるみよを

氷

解

波間

ぬちのあひだをりいづ

二

鯉

踊

出

荒ぶしきけさるもつなれ

貧

身

果

ちをやしあふたうて

母

養

補加

きくきよふふあひりも

郭巨

夫婦

泪

いつしきつなまてん

愛

子

棄

何まつうみそみそちあらせ

天神

見給

くいつかみちるしるめせ

地神

知召

まづゆのかよをさづりて

黄金

金

授

かじしとみすくさう

孝子

家富

末栄

世やうしのむすめいおさなう

揚氏

娘

稚

あやききちをまぐんと

危

父

救

いのちおしなぬをさうさふ

命 不惜

雄々

たけきやうさくふげり

猛

虎

逃

世何ごのつなをかうみ

縣

司

畏

おやをけなせしゆきん

親

離

度 黔妻

むねうちさきくあせつて

胸

打發

汗出

ちのやまひをまづぞしる

父

病

先

世くましのさしづふんを

薬師

指図

糞 寄

あはれあまをいりせん

味

甘

如何

ちのいのちふはせんや

父

命

代

よふはをまりけり

夜々

星

祭

世なるいさぎあきつ

夏

秋边

扇

あはれをいりて

冬

臥褥

温

くわうかうをいりて

黄香

父

慰

あゝろへのどけきちるあれや

心

長閑

春

世はあのみづちのまねだ

母

井

水

不好

おのばいさぎにいつみわき

白

門边

泉

湧

きやうしのよあびそのう

姜詩

喜

其上

ひふにひきのうをえつ

日々

二匹

鯉魚

得

共ふたやろひたふさの

雨親

摘

高砂

ためめきそのちうに

例

目出度

其中

あはれはあきあき

戲

遊

稚子

さあきあき

歳

七十路

老萊子

世やしもみづよみ

年

不熟

世

乱

やまにのづれーきん

山

通

蔡順

くろきまはのあき

黒

来

實

父母

あきまはのあき

赤

已

糧

あきまはのあき

赤

已

糧

其ありしそのよりおそれける
在 其世 畏

かみありききくわーりゆき
神鳴 走 行

もろびやうあゝるをやめむ
母人 心 安 給

まうけしうまゝあけかあぐ
王哀 此処 墓 告

其ちやくわふ斗ーちをさ
早 別 父母

あふふふふふふふふふふ
慕 余 丁蘭

おやのまづーなまきまき
親 姿 木 彫

あさあゆーあにーけり
朝 夕 事

早えだもたわふむゆまの
枝 挽 積雪

しーよりえづるたけのあは
下 萌出 竹 子

もうさうさくくのなまおひて
孟宗竹 名 負

のちゆもあふかーり
後世 語 告

三つさもたふいもやみ
官 高 家 富

ちくづくなまきまきまき
博学 多才 聞

くわうさんまくのまきはき
黄山谷 操

あふけかりしのがみあれ
孝子 鑑

三みちさしみちあほけり
道 道 多

かりのみさきさきめなれ
孝 道 始

ひとのよーあまけたくバ
人 善 惡 知

おちまつーなまきまき
親 事 狀 見

勸孝唱歌終
進上政外

罪三つみの多しおほけしきや
罪 数々 多

ふかうのつみをおもしと
不孝 罪 重

ひものとしひまりくくバ
人 善悪 知

おやふつろさまたみ
親 事 状 見

たふたふのめきよ
タタタタ

サササササササ
サササササササ

早野時寛ヨリ

勸孝早野市作へ

勸孝唱歌終

明治三十二年四月一日調刺

全 年 月 日 出 板

埼玉縣平民

編纂兼 中村朝次郎
埼玉縣北足立郡浦和宿
百十四番地

校閱人 太田忠恕
東京神田猿樂町二
丁目三番地

調刺人 夏井源助
埼玉縣北足立郡浦和宿
百十三番地

發 玉鴻巢 長嶋為一郎

東 神田 巖々堂

兌 南傳馬町 吉川半七

所 京 兩國 柳原友七

日本橋 関成堂
通三丁目

力孝昌次
十一
久直堂藏版

新刊廣告

太田忠恕校閱
石井音五郎編纂
石井福太郎

尋常小学修身口授教案

一卷正價金三十五錢
全四卷金壹圓四十錢
一卷二付郵稅金十錢

今や尋常小学生徒ノ修身口授ニ供スル書其數甚タ少ナシトセズ然リト虽氏其各タルヤ概ネ文意冗長ニシテ題數ニ乏シキカ或、高尚ニ失シテ實際ニ適シ難ク數卷ノ各ヲ積ト虽氏教案トモナスベキ各ノ未タ之レアルヲ見ス職ヲ小学ニ奉スル諸賢ノ常ニ不授トシ且ツ遺憾ニスル処ナリ弊鋪茲ニ見ルアリ即チ請フテ上梓スル所ナリ

抑々此各ハ編者ガ多年小学ニ從事シ日々生徒ニ授ケタル實際ノ教案ニ頗ル刪修ヲ加ヘ且ツ教育上ニ晒シ尽シタル太田先生ノ慧眼ヲ以テ校閲シタル者ナレバ尋常小学修身口授ニ欠クヘカニナル空前絶後ノ一大要旨ナリ

此各分テ四卷トナシ毎一年級ニ一冊ヲ充テルノ目的ナリ各冊共一百章宛ヲ載セ毎章題目例話目的ノ三項

ヲ置キ且ツ章末ニハ問詞ヲ掲テ約習ノ便ニ供ス其題目例話ノ如キハ固ヨリ毎級生徒ノ心カト學識ノ程度ニ適セシムルヲ主トセリ乞フ大方諸君愛讀ナレ

岡村覺太郎
先生編纂

和文類語鮮

前後全三冊
正價金貳拾五錢
郵稅金六錢

此各前編ハ

水鏡

大鏡

東鏡

增鏡

神皇正統記

太平記

公事根源

宇治拾遺物語

古今著聞集

源

平盛衰記

玉勝間

徒然草

平家物語

今昔物語

十訓抄

体源抄

土佐日記

吉野拾遺

保建物語

右の諸各中最も必要なる難意の廉々を抜萃註解シテ

る物ヲ以テ學校教員及高等生徒等ノ和文讀本和文教科書其他の和文各等を講ずる便用を主トシ編セ

一者ナリ

和

後編ハハてにをばの掛り結びの大綱及假名遣易法和

語消息文国字支那字反切延言約言和字等迄先生得意

の奥手を顯ハシ深切ニ説きたれバ總テ和語ヲ心懸る

の正和字を讀み和歌を詠じ假名遣を全クハ作リ

和漢の字を反切し和語を伸縮し且つ字典玉篇等心ナ

き和字を覺ゆるハ欠くべからざるの良各ナリ

力

子

易

又

十二

舊方唱哥

文華堂藏版

